

(財)女性のためのアジア平和国民基金

第27回理事会

平成9年4月

第27回理事会議事録

財団法人女性のためのアジア平和国民基金

1、開催日時・場所

平成9年4月16日(水) 18:00~20:30

基金事務局

2、出席者

▼理事会

原理事長、有馬副理事長、衛藤副理事長、榎本理事、金平理事、
下村理事、橋本監事

▼オブザーバー

内閣官房外政審議室/門司審議官、東審議官、山本事務官
外務省777局地域政策課/梅田課長、森川事務官、村上事務官

▼事務局

安齋総務部長、多賀業務第一部長、松田業務第二部長、
叶渉外部長、原田事務局員、佐藤事務局員、中山事務局員、
渡辺事務局員、岡事務局員

3、議事録署名人

榎本理事

金平理事

4、議事次第

■報告および審議事項

▼役員の選任について

- ・前年度に引き続き、原文兵衛氏が理事長に選任された。
- ・副理事長は今後「輪番制」とすることとし、今年度の具体的な候補者については、理事長に一任することとなった。
- ・専務理事は、事務局長と兼任することとし、新たに選任されるまで空席とすることとなった。

▼事務処理規則の一部改正について

- ・渉外部の新設に伴い、職務内容が一部改正となった(資料添付)。

▼「慰安婦」関係資料委員会委員の任期について

- ・委員の任期について審議した結果、「1997年4月1日より1999年3月31日まで。再任を妨げない。」と定めることとなった。

▼基金が主として制作に携わる出版物のタイトルについて

- ・「慰安婦」関係資料委員会を中心に制作を進めている出版物の、タイトルの表記について審議した結果、「アジア女性基金編」と統一することとなった。

▼三者合同会合の開催について

- ・三者合同会合の位置づけについて審議した結果、「三者合同懇談会」は必要に応じて招集し、基金の機関決定を要する場合には、別途「理事会」を招集することとなった。

▼タスクフォースのメンバー交代について

- ・運営審議会の委員長交代に伴い、タスクフォースメンバーが高崎宗司氏から林陽子氏へ交代となることが確認された。

▼女性尊厳事業について

- ・「1997年度女性の人権に関する今日の問題への自立活動・支援」について、募集要綱の配布が始まったことが報告された。

▼基金と民主党との懇談について

- ・添付報告書にもとづき、懇談の様子が報告された。

▼韓国記者団との懇談について

- ・韓国プレスの来日にあわせ、基金との懇談を計画中であることが報告された。

以上